

「電気料金値上げ発表の見直しを求める要望書」

平成24年3月5日

社団法人日本ゴルフ場事業協会

電気料金値上げ発表の見直しを求める要望書

平成 23 年 3 月 11 日に発生した「東日本大震災」及び「東京電力株式会社福島第一、第二原子力発電所事故」からの復興に向けてゴルフ場業界も懸命な努力を行っております。ゴルフ場業界は、バブル経済崩壊以降の景気低迷の影響を受けて、平成 23 年末までの間に民事再生法や会社更生法による法的整理を行ったゴルフ場は 2,400 ゴルフ場中 800 強に達しています。このような中、今般の東日本大震災による被災、及び、「東京電力株式会社福島第一、第二原子力発電所事故」による直接的、間接的（風評被害）被害も発生しており、さらに厳しい経営環境となっています。

また、原子力発電所事故による風評被害に対する損害賠償についても、未だ貴社の観光（観光業）に対する見解がゴルフ場業界と大幅に乖離しているため様々な極面において進捗しておりません。

このような状況において、突如として貴社が経営の悪化を理由に、一方的に電気料金値上げの発表が行われたことは、プレー料金の低価格等により法的整理が多発しているゴルフ場業界にさらなる経営的打撃となると危惧しております。原子力発電所事故の発生以降、貴社管内のゴルフ場もゴルフプレーヤーに節電への理解を懸命に呼びかけ、ゴルフ場業界として最大需要電力約 17%の節電を達成し、最大限の努力を行ってまいりました。平成 24 年以降も平成 23 年に引き続き最大限の節電をゴルフプレーヤーの協力を得つつ、電力需給のバランス維持に貢献出来るよう取り組む所存であります。

したがって、当協会としては、ゴルフ場業界の政府並びに貴社からの節電要請への取り組み、並びに、電気料金値上げという経営コスト上昇をプレー料金等に転嫁できない業況であることを真摯に受け止めていただき、貴社の経営合理化策を開示いただいた後、需要者側の納得が得られる状況の基に電気料金値上げを行っていただくよう要望致します。

平成 24 年 3 月 5 日

東京電力株式会社 取締役社長 西澤俊夫様

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 3-11-15

アーバンネット岩本町ビル 5 階

社団法人日本ゴルフ場事業協会

理事長 安倍晋三

Tel03(3864)6701 Fax03(3864)6703



平成23年夏期節電対策と実績

2011.11月 (社)日本ゴルフ場事業協会 作成

今夏の節電対策による、契約電力・使用電力量・最大需要電力の昨年比 8月分

(各地域別の平均値・端数切捨て、割合は全体合計の%)

北海道地区

契約電力 kw		使用電力量 kwh				最大需要電力 kw		
平成22年8月	127kw	平成22年8月	3,577kwh	平成22年8月	130kw			
平成23年8月	131kw	102.97%	平成23年8月	3,429kwh	95.88%	平成23年8月	128kw	98.72%

東北地区

契約電力 kw		使用電力量 kwh				最大需要電力 kw		
平成22年8月	165kw	平成22年8月	56,190kwh	平成22年8月	158kw			
平成23年8月	149kw	90.30%	平成23年8月	46,634kwh	82.99%	平成23年8月	146kw	92.63%

関東地区

契約電力 kw		使用電力量 kwh				最大需要電力 kw		
平成22年8月	240kw	平成22年8月	72,323kwh	平成22年8月	227kw			
平成23年8月	204kw	85.15%	平成23年8月	55,283kwh	72.29%	平成23年8月	186kw	82.08%

中部地区

契約電力 kw		使用電力量 kwh				最大需要電力 kw		
平成22年8月	311kw	平成22年8月	74,007kwh	平成22年8月	252kw			
平成23年8月	313kw	100.62%	平成23年8月	61,146kwh	82.62%	平成23年8月	236kw	93.39%

関西地区

契約電力 kw ※10クラブ		使用電力量 kwh ※13クラブ				最大需要電力 kw ※11クラブ		
平成22年8月	238kw	平成22年8月	74,012kwh	平成22年8月	222kw			
平成23年8月	231kw	97.15%	平成23年8月	66,253kwh	87.16%	平成23年8月	210kw	94.53%

九州・沖縄地区

契約電力 kw		使用電力量 kwh				最大需要電力 kw		
平成22年8月	228kw	平成22年8月	69,685kwh	平成22年8月	221kw			
平成23年8月	233kw	102.19%	平成23年8月	65,881kwh	95.16%	平成23年8月	221kw	100.00%

集計結果では、東京電力管内である関東地区が節電15%を達成。他地区では未達という結果となりました。行政機関より、冬期の節電対策は「関西電力管内▲10%以上、九州電力管内▲5%以上、その他の地域は数値目標なしの節電。」となっているため、対策を実施して頂きたい。

1. 大気の浄化・地球温暖化防止に貢献するゴルフ場

財団法人 西日本グリーン研究所所長「縣和一」氏が、平成19年8月に「大気の浄化・地球温暖化防止に貢献するゴルフ場」と題して、ゴルフ場の持つ緑化機能についての研究論文を發表された。

その論文の要旨は、日本には2,400余りのゴルフ場があり、その総面積は国土の0.7%にあたる27~30万ヘクタールとなり、この膨大な芝地と樹林地からなる貴重な修景地財産は、大気の浄化と温暖化防止に貢献するというものでした。

全国のゴルフ場の緑が生産する有機物量（バイオマス）は、芝地と樹林地の合計で年間313万トンにもものぼり、これを基礎に「CO₂吸収量」、「O₂発生量」「蒸発散水量（H₂O）」を求めると下表の通りです。

総面積	27万 ha	
有機物生産量	313万 t	
CO ₂ 吸収量	460万 t	標準世帯230万世帯の年間消費電力110億kwhを火力発電する時に発生する量
O ₂ 発生量	336万 t	1,225万人の成人が年間呼吸する際の酸素量
蒸発散水量（H ₂ O）	11.7億 t	周辺環境の温湿度、風などの気象制御

以上の通り、ゴルフ場の緑化機能は「地球温暖化防止」に役立っている。

2. 「震災復興支援 グリーン・ティー・チャリティー」

東日本大震災発生後、ゴルフ関連20団体では「震災復興支援 グリーン・ティー・チャリティー」と名付けて復興支援活動を行っている。この活動は以下3つの目的をもって行われている。

◎震災復興に向けての義援金募集（H23年12月末 約19億円）

◎「節電15%の実現」

◎地球温暖化防止活動の推進（エコ・グッズ）

以上の事をゴルフプレーヤーに呼びかけ、協力をお願いしている。